

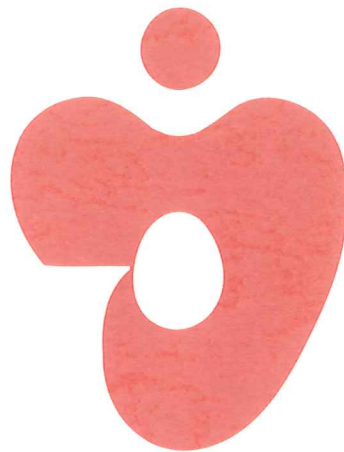
ISSN 1344-7505

九州看護福祉大学紀要

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare

Vol. 1 No. 1

1999



九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

目 次

巻頭言 創刊によせて	小林 拓郎	1
終末期看護に関する一考察	橋本 久子	3
『オレム看護学』の研究	橋本 久子	13
アネキシン-V及び関連ペプチンの塞栓防御作用に関する研究.....	船越 崇行・中野 宏俊・島田 秀昭 ・等 泰三・溝上 寛	21
Preparation of Antibody to Lipoprotein Lipase (LPL) Using Syncetic Peptides Derived from LPL	Takayuki Funakoshi, Masateru Ogata Hideaki Shimada, Kazutoshi Matsumura Hiroshi Ueki, Shoji Kojima	29
社会福祉における情報化に関する考察	加藤 麻樹	35
介助作業の標準化に関する研究・その1	加藤 麻樹・水間 宗幸	43
Rorschach methodの構造上の性質 -inkblot 反応の心理的距離に関する一考察-	熱田 一信	51
視覚障害者雇用継続の課題	中村 哲夫	59
リハビリテーションと特殊教育の関係について	柴崎 建	69
事実教授学の歴史についての考察	原田 信之	77
援助的コミュニケーション研究の視座としての「間主観性」(その1)	原田 信之・水間 宗幸	85
援助的コミュニケーション研究の視座としての「間主観性」(その2)	水間 宗幸・原田 信之	93
看護学の主要概念	岡本 陽子	101
看護職の性差別撤廃の必要性	生野 繁子	107
障害者福祉労働の理論的考察	竹原 健二	117
不安定性橈骨遠位端骨折	田中 晴人・山下 信哉	125
看護教育における実習記録の意義	谷口あけみ・柴田 恵子	135
「やさしいまちづくり」に関する住民の意識(1)	西島 衛治・加藤 麻樹	151
公的年金制度における消滅時効に関する一考察	村上貴美子	167
障害者の作業能力評価法に関する一考察(第1報)	西口 宏美	175
Excavation at Takht -i- Bahi	久我 篁子	185
高齢者のセクシュアリティの社会的受容に関する研究(第1報)	久佐賀真理・加藤 麻樹・竹熊 千晶・木村 正治	197
高齢者のセクシュアリティの社会的受容に関する研究(第2報)	久佐賀真理・加藤 麻樹・竹熊 千晶・木村 正治	207
老人観についての調査(1)	生野 繁子・西崎 緑・加藤 麻樹	215
罪責問題・その哲学的展開-「不作為」を中心に	山本 務	233
九官鳥は師匠	宮本 健作	245
家族計画実践から見た第三世界の出生力決定要因	浅野美智留	257
言語発達遅滞児のコミュニケーション機能に関する研究	李 玄玉	267
中国における社会保障	高 継芬	275
植民地期朝鮮の救貧政策に関する一考察.....	金 蘭九	281
植民地期朝鮮の障害者政策に関する一考察.....	金 蘭九	289
Improvisation and Creativity in Jazz until 1950	Allan J. Sutherland	297
北米の看護.....	財津 秀子	313
豊島の環境問題(1).....	安藤 学	329
行為と状況-意欲の現象学への序説-.....	直江 清隆	335
放射するエネルギーとしての癒し-高松次郎の『形/原始』からの考察-	半田 結	345
執筆要領.....		355
業績リスト.....		356
編集後記.....	田中 晴人	361

巻 頭 言

創 刊 に 寄 せ て

学 長 小 林 拓 郎

平成10年4月に開学した本学が、早くも「九州看護福祉大学紀要」の創刊を果たしたことは、本学教員各位をはじめ、紀要委員の熱意の賜物であり、誠に意義深く励快感に耐えません。

いうまでもなく、九州看護福祉大学は、わが国の高等教育機関の一つとして、その名称の示すように、来るべき21世紀を見据えた看護学・社会福祉学の高度な専門家の育成を目的に開学いたしました。従って本学の教員の行う教育と研究は一体となって機能することが必然的に強く求められます。そのようななかで本誌が発刊された意義は、個々の教員の研究水準の向上のみならず、大学人としての自己点検ならびに評価の涵養にとって重要であるばかりでなく、ひいては本学の高い学術的評価につながるものと考えます。

さて、21世紀を目前にして、看護学は生命科学的観点から、他方社会福祉学は形而上学的観点から脱却してそれぞれの専門を更に充実させる時代を迎えております。従って今後、看護学は社会・精神的側面、一方社会福祉学は科学的側面を加味した教育・研究上の展望を持つことが必要であります。

本学紀要の刊行が本学のみならずわが国の看護福祉の総合的發展の一助になることを希望すると共に、今後より一層内容の充実した研究論文が本研究紀要誌の紙面を賑わすことを心より期待する次第であります。

編集後記

本学が開設されて早や一年が経過した。数ある高等教育機関の中でもユニークな看護福祉系大学の誕生という訳である。福祉系に医療を組み入れる作業は、遅まきながら日本政府も法定化の方向に進んでいるが、福祉医療を高度なものとして推し進めるためには意識の高い医療の概念と、裾野の広い福祉的観点があってはじめて成果を果たせるものとする。医療と福祉は人を挟んでの車の両輪である。近年医療サービスという言葉がマスメディア以外の場でも耳にするようになり、また地球における環境汚染、近代医学の賜物である臓器移植、遺伝子治療後の後遺症対策など、従来の社会福祉対策の範疇ではまかなえきれない諸問題の中で、我々は21世紀という時代を生きていかなければならない。この様な視座に立った場合、21世紀における大学も従来の専門を統合した医療福祉学、あるいは福祉医療学なる新しい学問体系づけが求められてくるのではないかと考える。従ってこの紀要は、医療・看護と社会福祉の新たな統合の意図を持った場として活用されることを望むと共に、本学完成年度には更に充実した「紀要の場」になることを期待してやまない。

今回の紀要編集に関しては、一見論文配列に整合性が乏しい印象を呈しているが、それはあらゆるジャンルを投稿受付順としたためである。次回は、1999年11月末日を投稿締め切りのデッド・ラインとしている。看護・福祉そして両専門の統合された論文投稿も強く期待したい。

尚、本紀要発刊に御協力頂いた本学教員・職員・紀要委員の諸兄姉に深く感謝すると共に、今後本誌が本学の建学精神の目としての機能をもつべく努力をしていきたいと考えている次第である。

1999年3月1日

紀要編集委員会委員長 田中 晴人

紀要編集委員

委員長	田中 晴人 (九州看護福祉大学看護学科)
委員	竹原 健二 (同上 社会福祉学科)
	金 蘭九 (同上 社会福祉学科)
	柳井 圭子 (同上 看護学科)

査 読

熱田 一信 (同上 看護学科)
村上貴美子 (同上 社会福祉学科)
久我 篁子 (同上 看護学科)
佐藤 林正 (同上 社会福祉学科)
西島 衛治 (同上 社会福祉学科)
船越 崇行 (同上 看護学科)
A. Sutherland (同上 看護学科)

(順不同)

九州看護福祉大学紀要 第1巻 第1号

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare Vol.1 No.1

1999年3月

発行者 九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

〒865-0062

熊本県玉名市富尾888番地

888 Tomio, Tamana City, Kumamoto Pref.

Japan. Zip 865-0062

T E L 0968(75)1800

F A X 0968(75)1811

紀要編集委員代表 田中 晴人

印刷所 株式会社 有明印刷 〒865-0022

熊本県玉名市寺田123-1

T E L 0968(73)2055

F A X 0968(72)3504
